

校報



水 緒

「知徳の方向 あやまらず 進め」

第 1364号
(令和2年度 第47号)
洋野町立種市小学校
令和3年3月18日
児童数 229名

修了式、5年生の後ろには、いつも後ろに控えていてくれた6年生がいません。4月からは、この5年生が学校の中心になっていってくれるのだなあと思って見ていました。

がんばったことを思い出し **“心をこめる”**ということ 応援してくださった人に感謝して

各学年の勉強がすべて終わった「しるし」である修了証書を渡す式・修了式が行われました。証書は学年ごとに代表に渡されます。予行練習では「心をこめる」ということを話しました。

心の込め方は2つ。まずは、代表の人がもらうとき、「**自分がかんぼったことを思い浮かべて一緒にもらう気持ちになる**」ということ。2つ目は、「**自分がかんぼっていたとき、助けてくれたり、応援してくれたりした人がいたはずで、その人のことも思い出し、心の中で「ありがとうございます」という気持ちをこめてもらう**」ということでした。

本番の修了式。子ども達は、代表だけでなく、一人一人が“心を込めて”式に臨みました。行儀も、「先生に叱られるから」だけでなく「自分から」よくしようとがんばり、しっかりと修了証書をもって、1年の区切りをつけることができました。

“区切り”といえどもう1つ、修了式で話をしました。

「区切りの日」にすること

「今日、家に帰ったら、この修了証書をうちのの人にきちんと渡ししょう。そして、渡すとき、**「1年間ありがとうございました。これからもがんばるのでよろしくお願ひします。」と感謝の言葉を言ひしょう。**」と話しました。今日は区切りの日です。1つ上の学年に進み、お兄さんお姉さんになるのですから、区切りにふさわしい行動ができなければなりません。年に一度くらい、照れくさいですが、しっかりと、このようなことができる子にすることが、大人へ向けての階段を一段上らせること（我々大人の仕事）だと思っています。「**うちの方もきっと喜んでくださるはずです。**」と話しました。どうか、このような子ども達の行いを受け止めていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

子ども達は、たくさんの経験をし、そのたびに自分を高め学級・学年を高めることにつなげました。

また、失敗したことや叱られたこともあったはずです、その、失敗や叱られたことから成長してきたと考えています。たくさんの成長があつて新しい学年に進みます。新しい学年でも、どれだけ成長できるか楽しみになります。

昨年度は、急に学校が休みになり、修了式の練習もまったくできないままでした。今年度もどうなるか、おうちの方は心配だと思ひます。参観日もなく家庭訪問もできない4月のスタートでした。これまで築いてきたおうちの方や地域との信頼を絶やしてはいけなと思ひながら苦心して進んできた一年でした。学習発表会や修学旅行の実施が危ぶまれたころは「どんな形であれやりたい。中止はしたくない。」とご理解をお願ひしたこともありました。そうやって、ご理解をいただき、応援をいただき、おかげさまで、子ども達の修了を迎えることができました。

1年生から5年生のみなさん、**修了おめでとうございます。**

そして、おうちの方々や地域の方々、これまでのご支援・ご協力、**ありがとうございます。**

新年度で活躍するためにも コロナ対策を

まずは予防

そして **それでも誰もが、かかるかもしれません
もし、かかったかもしれない人がいても
「誰だろう？」ではなく
「あまり言わないことにしよう。」**と言ったらどうだろう

春休みは、健康・安全に気をつけて暮らすように約束しました。コロナウイルスについては、現在も、緊急事態宣言が出ている地域があったり、また、それが解除になったからといって油断できないことが言われたり、ほかにも感染が続いている地域があったりします。近隣の市町村でも感染があったというニュースが流れています。さらには、新型コロナウイルスだけでなく、「ヒトメタニューモウイルス感染症」（風邪のような症状が出るそうで、出席停止となるものです）というも洋野町で流行していると聞きます。令和3年度をみんな揃ってスタートできるように、引き続き、感染に気をつけて暮らせるように、おうちでもお願いしています。

本日、「**新型コロナウイルスを含む感染症と蔓延防止について**」というお願いのお手紙を配りました。「旅行や外出について自粛・延期、慎重な検討をお願いしたいもの」や「感染またはPCR検査を受けることになった場合」などについてお願いしていますのでお読みいただきたいです。

また、以前にも、お伝えしたように、**誹謗中傷・差別・詮索**などが行われないうにもしたいです。感染がある地域ではいまだに**誹謗中傷・差別・詮索**が問題になっています。子ども達には、予防について教える一方で、「もし、かかったかもしれない人がいても、「そっとしておいてあげよう」という方がいいね。」と教えています。「**誰だろう？」**とうわさにする人がいたら「**あまり言わないことにしましょう。**」と言ったらどうだろう。」と考えさせてもいます。たとえ心配で発した「誰だろう」も何人かで話すうちに誹謗中傷になりかねません。

コロナの変異株もでてきているそうです。だれが、いつかかるかわかりません。予防に努め、それでもかかったら相手を思いやるということを学校でもおうちでも教えていきたいと考えます。

6年生は卒業に向かう

地域、保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染防止のため、卒業式に地域の方をお招きできないままで行うことにしました。地域との関係が深く、たくさんお世話になっていることを重々承知しているつもりでおります。先生方からは、「こんなにお世話になっている地域の方々卒業式を見ていただかなくていいのだろうか。」という声も出ました。せめて「地区何人までというふうにしてもお招きしたい。」という声もでました。それでも、やはり、子どもが感染していけませんしお客様に感染させてもいけません。感染防止にはやむを得ないと考えました。何卒ご理解をお願いいたします。また、保護者も各家庭2名までとしています。重ねてご理解をお願いいたします。

6年生は、いよいよ明日の卒業式に向かいます。

修了証書と卒業証書の 「割り印」がなくなります

学校には修了生や卒業生の名前が書かれてある台帳というのがあって、その台帳と証書の番号のところにまたがってつくのが「割り印」ですが、町の規定が変わって、それをつかなくてもよいということになりました。今年度からの変更です。ご承知おきください。

第 〇 号
修了証書
種市花子
.....
.....